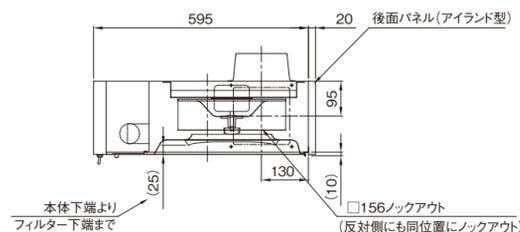
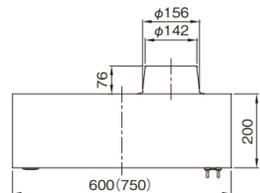
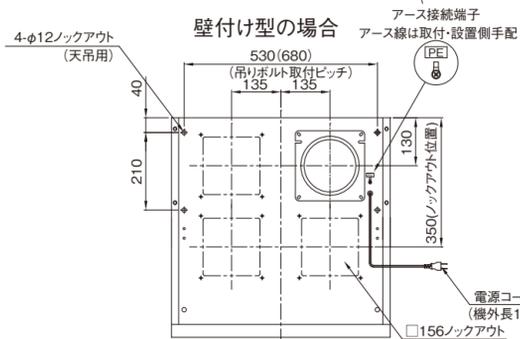
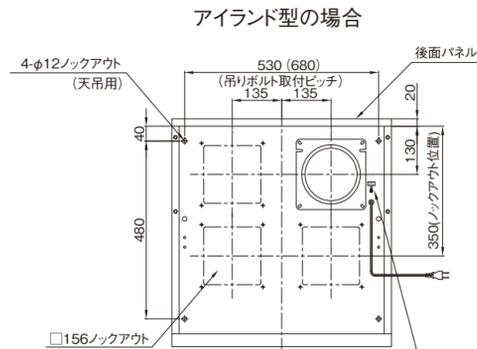
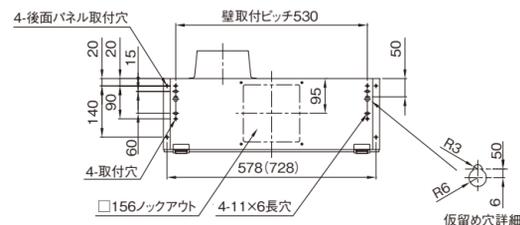


7 外観寸法図 (取付寸法図)

外観寸法図



背面取付図



※ () 内寸法はワイド寸法750mmの場合

8 電気配線



● 修理技術者以外は、絶対に分解したり修理・改造しないこと
発火・感電したり、異常作動してけがをすることがあります。

分解・修理・改造禁止



● 交流100V以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります。

使用禁止



● アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電することがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。

アースを取り付ける



● 配線の接続は、「電気設備技術基準」や「内線規定」に従って安全・確実に行うこと
誤った配線接続は感電や火災のおそれがあります。

取付注意

- 必ずアース (D種接地) をしてください。アース接地位置は「外観寸法図」を参照ください。
※アース線は取付・設置側にて手配してください。
- 電源プラグをコンセントに差し込みます。

9 試運転



注意



● 運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れないこと
けがをしたり、故障の原因となります。

接触禁止

- 本体の各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速調の排気が正しく行われていること。
- 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。
- 取付け又は設置上に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

10 お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付・設置説明書を必ずお客様へお渡しください。

フラットレンジフード

安全のために必ずお守りください

取り付けの前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。ここに示した注意事項は、製品を安全に取り付け、あなたや他の人々への被害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

本文中に使われている図記号の意味は次の通りです。



誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。



禁止事項



電源プラグを抜く



誤った取り扱いをしたときに傷害を負う危険または物的損害に結びつく可能性があるもの。



指示に従う



水場での使用禁止



接触禁止



分解・修理・改造禁止

警告

修理分解はしない

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理改造は行わないで下さい。発火・感電したり、異常作動してけがをすることがあります。

お手入れは「切」にしてから

- お手入れや電球の交換の際は、必ず電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを切って行ってください。(分電盤のブレーカーを切る場合は、他機器の電源も切れるおそれがあります。)ぬれた手で触らないでください。感電や、けがのおそれがあります。

水・洗剤等の液体についたり、かけたりしない

- 水・洗剤等の液体についたりかけたりしないでください。ショート・感電や火災のおそれがあります。

ガスもれのときはスイッチを入れない

- ガスもれの時は換気扇スイッチを入切しないでください。ガス爆発の原因となります。

交流100V以外では使用しないこと

- 火災の原因になります。

レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との距離を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う必要があります。

- ※詳しくは、所轄の消防署へ確認ください。

注意

調理中や運転中に部品をはずさない

- 調理中や運転中に、パンチングフィルター及び周辺の部品等をはずそうとしないでください。落下によりけがをすることがあります。

部品の取り付けは確実に

- 部品の取り付けは確実に行ってください。落下によりけがをすることがあります。

部品を扱うときは厚手の手袋使用

- 部品を取りはずすときや、洗うときは必ず厚手の手袋を着用してください。金属端面などでけがをすることがあります。

電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災の原因になります。

運転中は指や物を入れない

- 運転中は危険ですから、レンジフード本体の中に指や物を入れないでください。けがのおそれがあります。

電源コードを傷めない

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かないでください。電源コードが断線し、火災の原因になります。

レンジフードにのらない

- レンジフードにのったり、ぶら下がることはやめてください。落下によりけがをすることがあります。

電源プラグのお手入れを

- 定期的に電源プラグを抜き、電源プラグのほこり等を除去してください。湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

お取付前の注意事項

- 1) 部屋全体の換気には他の換気扇(ダクト用換気扇、または一般用換気扇)を併用してください。(レンジフードは局所換気専用です。)
- 2) 取付・設置の際は厚手の手袋を使用してください。
- 3) 取付高さは標準80cmです。(但し、消防法により規制される場合がありますので注意してください。製品は調理器具の真上に取付け、取付高さは調理器具より80cm(*)の高さに取付けます。高すぎると排気効果が低下し、低すぎると台所での仕事のさまざま

になったり、高熱による故障の原因になります。(図1)

4) 湯沸器の上部は高温になるので、湯沸器の真上には取付けしないでください。(図1)

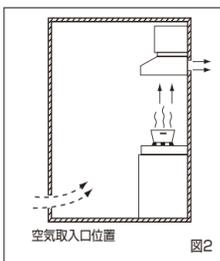
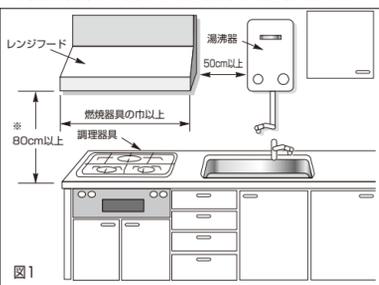
5) ダクト排気するときはダクト抵抗の確認が必要です。

6) 空気の取入口を設けてください。密閉された部屋で使用の場合は、空気取入口を設けます。空気取入口の位置はレンジフードと反対側に設け、大きさは排気口の大きさ(□156mm)以上にしてください。(図2)

7) 取付面の強度をよく調べて取付けてください。壁材が薄く弱いと振動音が発生することがあります。

8) 電源コードは傷付けないよう配線してください。

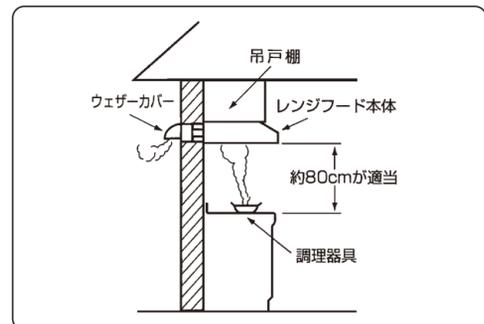
9) フード周辺のレイアウトは、各市町村の条例に従ってください。



取付け方法

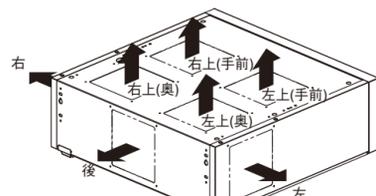
1 取付位置を決めてください

調理器具の真上 80cm 位の所に取付けてください。



2 排気方向を決める

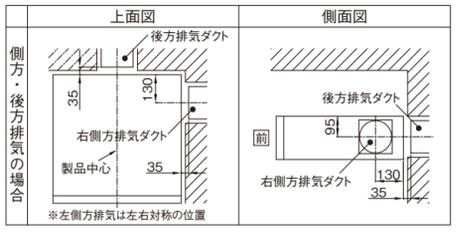
下図のように排気口は7ヶ所あります。(標準で右上(奥)が開口してあります)



- ※1 右上(奥)排気以外を使用する場合はノックアウトを打ち抜いてください。
- ※2 上排気の場合、別売のエルボを使用すると3方向(後、右、左)可能となります。

3 壁に穴をあけダクトを取付けてください

- 1) 外観寸法図を参照し、壁に穴(φ160程度)を開けてください。
- 2) φ150のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを下図のようにセットして、周囲を仕上げてください。(コンクリート、タイル、土壁の場合)



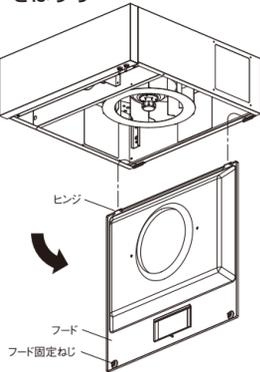
■付属品を確認してください。

- ①ねじセット ② タッピングねじ ③ 座付タッピングねじ ④ タップタイトねじ
- ⑤ 4.5×45 (2本) ⑥ 4×45 (4本) ⑦ 4×10 (8本)
- ⑧ 排気口具 (1個) ⑨ 塞ぎ板 (1枚) ⑩ 取付板 (1枚)

4 排気口具を取付ける

排気口具を取付ける際には、排気口具に貼付けてある「ご注意」をお読みの上取付けてください。

4-1 フードをはずす

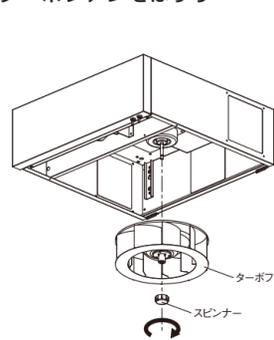


フードをはずしてください。フード固定ねじ2本をゆるめると手前側がはずれ奥側のヒンジ部をはずすと取りはずせます。

お願い

フードをはずすときは、ヒンジ部を変形させないように注意してください。

4-2 ターボファンをはずす

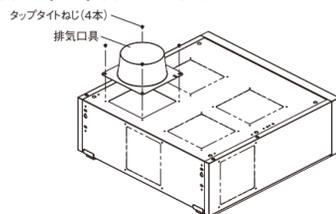


ターボファンを支えながらスピナーを「ユルム」の方向に回してはずすのち、ファンを軸から抜いてください。※「ユルム」については、スピナーに記載しています。

お願い

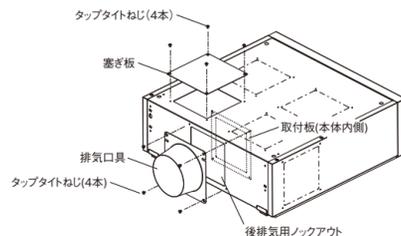
ダクトと接続後は試運転(強運転)をして、排気漏れを確認してください。漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等(現地手配)で漏風防止処置を行ってください。

4-3 右上(奥)排気の場合



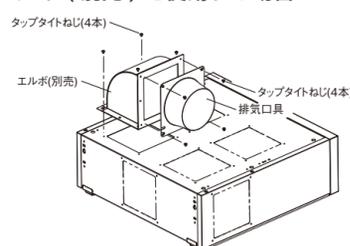
排気口具をレンジフード本体にタップタイトねじ(4本)で固定してください。

4-4 その他の排気の場合



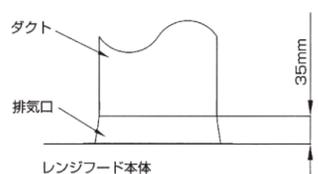
- 1) 排気位置を決め、ノックアウトを本体外側から内側へ向けて打ち抜いてください。
- 2) 打ち抜いた排気口に排気口具をタップタイトねじ(4本)と取付板(本体内側から)で固定してください。
- 3) 右上(奥)排気口を付属の塞ぎ板で塞いでください。

4-5 エルボ(別売)を使用する場合



- 1) 排気口具をタップタイトねじ(4本)で、エルボに固定してください。
- 2) 排気口具を取付けたエルボをタップタイトねじ(4本)でレンジフード本体に固定してください。

■φ150ダクトの差し込み寸法

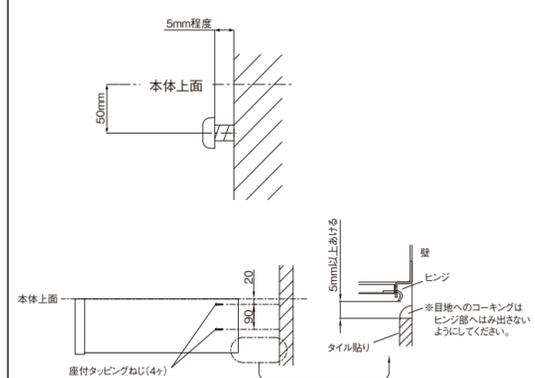


5 本体を取付ける

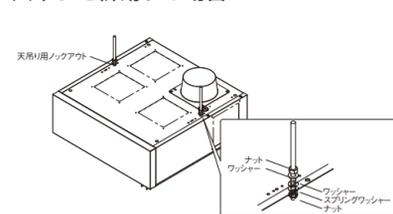
5-1 壁付け型の場合

「取付け面について」

- 木質壁の場合は、取付面の板厚は20mm以上。それ以下の場合には、壁に補強板を埋め込み補強を施してください。
 - コンクリート、タイル壁の場合は、あらかじめ壁に補強板を埋め込んでおくが、カールブラク等を使用してください。
- 1) 仮留め位置(2ヶ所)にタッピングねじ(4.5×45)を5mm程度浮かせてねじ込みます。
 - 2) 1)で取付けた仮留め用ねじにレンジフード本体を引っ掛けたあと、しっかりと締め付けてください。ほか4ヶ所も座付タッピングねじ(4×50)でしっかりと締め付けてください。

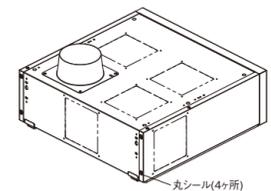


5-2 天吊りを併用する場合

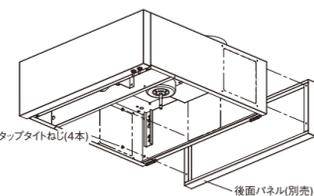


- 1) レンジフード本体の天吊り用ノックアウト(2ヶ所)を本体外側から内側へ向けて打ち抜きます。
 - 2) 上下でナット、ワッシャー、スプリングワッシャーとで固定します。
- ※ 吊りボルト、ナット、ワッシャー、スプリングワッシャーは付属されておられません。

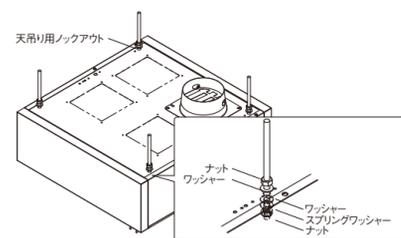
5-3 アイランド型の場合



- 1) レンジフード本体後面の丸シール(4ヶ所)を剥がしてください。



- 2) 後面パネルをレンジフード本体内側からタップタイトねじ(4本)で固定してください。

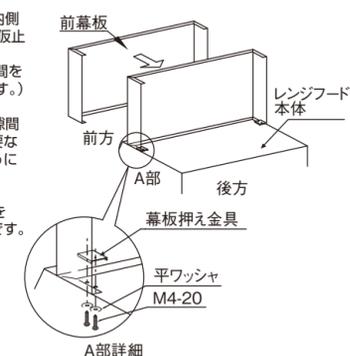


- 3) レンジフード本体の天吊り用ノックアウト(4ヶ所)を本体外側から内側へ向けて打ち抜きます。
 - 4) 上下でナット、ワッシャー、スプリングワッシャーとで固定します。
- ※ 吊りボルト、ナット、ワッシャー、スプリングワッシャーは付属されておられません。

6 前幕板(別売)・横幕板(別売)の取付け方法

6-1 前幕板のみ使用の場合

- 1) 幕板押え金具を本体内側からM4-20のねじで仮止めます。(本体と押え金具の隙間を3~5mm程度にします。)
- 2) 前方から押え金具の隙間に前幕板を差込み必要な奥行き寸法になるように調整します。
- 3) 幕板押え金具のねじをしっかりと締め完了です。



6-2 横幕板を使用する場合

- 1) 本体天面のノックアウト(φ6×10長丸)4ヶ所を本体外側から内側へ向けて打ち抜いてください。
- 2) 横幕板を本体内側からM4-10のねじ2本で固定します。
- 3) 横幕板を木ねじで後壁面に固定します。※注1(上面にも固定すると筐体強度が増しますが、上面固定は各市町村の条例に従ってください。)
- 4) 6-1の手順に従い、前幕板を取付けてください。(横幕板が前幕板の内側へ入り込み、重なり合います。)

